

いちご新品種「栃木i37号」の育成 (商標名：とちあいか)

背景

いちご王国とちぎとして、栃木県産のイチゴのさらなる魅力向上といちご生産農家の経営安定を図るため、早生で多収、良食味で輸送性に優れ、病気に強く作りやすいイチゴ新品種「栃木i37号」を育成しました。

育成経過

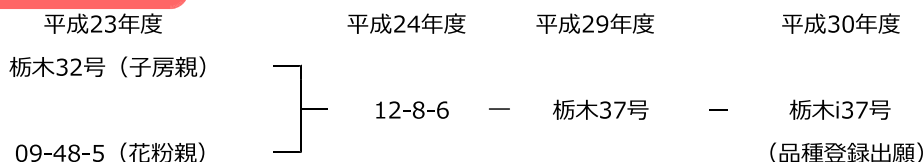


写真1 着果状況

栃木i37号の特徴

「栃木i37号」には次のような特徴があります。

- ・草姿は立性で「とちおとめ」に比べ草勢は強く、厳寒期の生育も旺盛。
- ・開花が「とちおとめ」に比べ開花始期は6~13日、収穫始期は10~19日早い。
- ・収量は「とちおとめ」より30~40%程度多い。
- ・果形はハート形で、平均一果重は20g程度と「とちおとめ」の16gに比べて大きい。
- ・果皮色は「とちおとめ」よりも赤味が強い鮮赤色で光沢は同程度に優れる。
- ・果汁に富み、糖度は「とちおとめ」並で、酸度はやや低く良食味で、果皮硬度は硬い。
- ・萎黄病に対して高い耐病性を有する。
- ・先端障害果(先つまり果、先青果、先白果)が一時的に多発する場合がある。

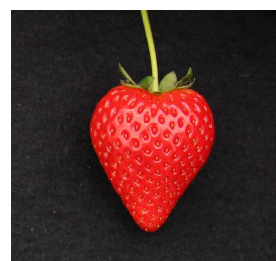


写真2 果実外観

表1 開花・収穫始期、着花数、果実品質等(平成29年度試験成績)

作型	品種	開花始期 (月/日)	収穫始期(月/日)			着花数 (個/株)	可販果数 (個/株)	1果重 (g/個)	可販果率 (%)	糖度 (Brix)	酸度 (%)	果皮硬度 (gf/φ2mm)	先つまり果 (%)
			頂花房	1次腋花房	2次腋花房								
夜冷	栃木i37号	9/28	10/27	12/24	1/26	8.0	49.2	17.9	85.0	10.1	0.48	64.2	2.1
	とちおとめ	10/6	11/15	1/12	2/17	18.6	48.2	14.3	71.8	10.5	0.61	55.6	2.0
ポット	栃木i37号	10/17	11/17	1/6	1/31	8.8	45.5	20.9	91.8	10.0	0.48	65.7	5.1
	とちおとめ	10/30	12/6	1/26	2/20	19.6	42.0	15.4	77.4	10.1	0.59	53.7	1.1

注. 着花数は頂花房

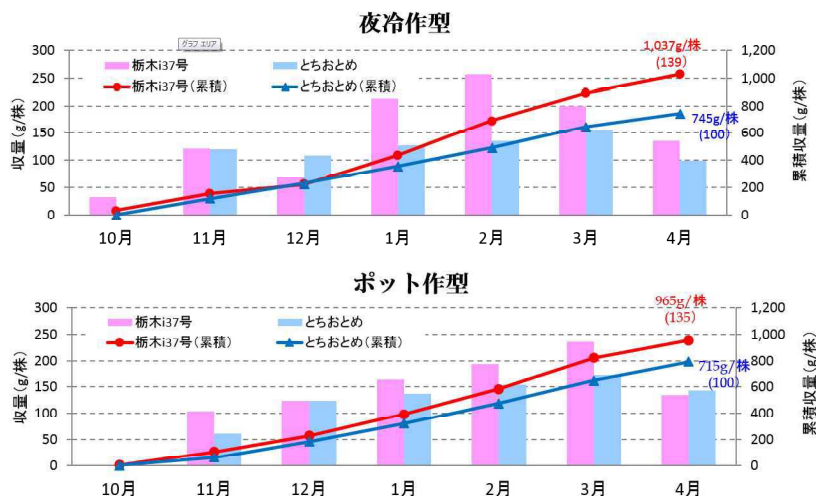


図1 月別収量(H29~30 各種試験の平均)



写真3 果実断面